

レクチャーコンサート

日韓文化の相互作用～両国の伝統楽器を通して～

韓国の Aufwind と日本の J-Trad Ensemble MAHOROBA による日韓伝統音楽のレクチャーコンサートを開催致します。Aufwind は、韓国の伝統的な管楽器を中心に現代芸術の新しい可能性を探求するために、大金奏者である Yuhong が設立した芸術グループです。Aufwind は、音楽の本質に重点を置いた様々な実験的なアプローチを通じて、芸術の無限の可能性を探求することを目指しており、様々な公演、レコード、NFT 芸術の企画・制作を含む様々な分野に範囲を拡大しています。現在は東アジアを中心とした国際的な芸術協力ネットワークの構築に力を入れています。また、J-Trad Ensemble MAHOROBA は、2020 年に日本音楽の源流に基づきながら、世界中の聴衆の心に響く音を追求するアンサンブルとして、三味線演奏家の本條秀慈郎の呼び掛けにより、三味線・本條秀英二、尺八・川村葵山、箏・木村麻耶、吉澤延隆、邦楽囃子・堅田喜三郎によって結成されました。これまでに東京オペラシティタケミツメモリアル、神奈川県立音楽堂、北とぴあ国際音楽祭などで公演し、伝統音楽と現代音楽の双方を併せ、日本の伝統楽器の“いま”を探求しています。

演奏者

司会：金志善（東京大学特任准教授）

韓国：Aufwind：大琴・Yu Hong、笛・Park Chiwan、笑琴・Yang Heejin、打楽器・Kim Ungsik

日本：J-Trad Ensemble MAHOROBA：三味線・本條秀英二（ほんじょう ひでえいじ）、尺八・川村葵山（かわむら きざん）、箏・木村麻耶（きむら まや）、吉澤延隆（よしざわ のぶたか）、邦楽囃子・堅田喜三郎（かただ きさぶろう）

演目

1. 日韓伝統楽器アンサンブル
2. 処容舞（宮廷舞踊曲）
3. 散調合奏（民俗楽）
4. 花の風雅（俚奏楽）
5. 日韓伝統楽器アンサンブル

【日時】 2024 年 11 月 11 日（月）15:10～16:30

【場所】 東京大学駒場キャンパス学際ホール

主催 東京大学韓国学研究センター

後援 韓国国外所在文化遺産財団

Aufwind



ARTS COUNCIL
KOREA



Hong YOO (Daegeum)



ChiWan PARK (Piri)



Heejin YANG (Haegeum)



Woongsik KIM (Janggu, Korean percussion)

レクチャー
コンサート

2024年11月11日(月)
15時10分から16時30分

東京大学駒場 I キャンパス
学際交流ホール(アドミニストレーション棟3階)

東京都目黒区駒場3丁目8-1

最寄駅/京王井の頭線「駒場東大前」駅 東大口より徒歩0分



彫刻:Masato Ayusawa

東京大学

日韓文化の相互作用

～両国の伝統楽器を通して～

主催 東京大学韓国学センター
韓国国外所在文化遺産財団

J-TRAD
Ensemble MAHOROBA

本條秀慈郎(三味線)
本條秀英二(三味線・胡弓)
川村葵山(尺八)
木村麻耶(箏・二十五絃箏)
吉澤延隆(箏・十七絃箏)
堅田喜三郎(囃子)



J-TRAD Ensemble MAHOROBA